

三原市総合福祉健康センター開設記念イベント 参加者大募集!!

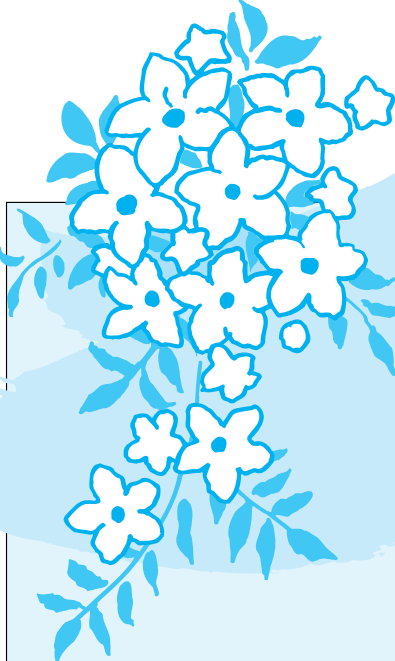
(社)三原青年会議所では、11月に開設される三原市総合福祉健康センターの記念事業として開催される三原市健康まつりに協賛して2つのイベントを企画しております。参加費は無料です。ふるってご参加下さい。

11月2日(日) 9:30~16:00

花束ブーケで飾ろう市民のセンター 心に架かれ優しさの橋

子どもからお年寄りまで世代間の交流を目的として、センターに来場された市民1人1人に初心者でもできるリボンフラワーの花を造っていただき、それを集めて大きな花束(ブーケ)としてセンターに飾ろうというイベントです。

一輪の美しい花を造るのは、とても楽しいことです。それが集まって大きな花束(ブーケ)となればみんなの心が集まってさぞかし美しい花束(ブーケ)となる事でしょう。そしてこれから先センターに来場される市民1人1人を暖かく迎えてくれると思います。リボンフラワーの材料は、(社)三原青年会議所が手配いたしますので是非お気軽にリボンフラワーを楽しみにご来場下さい。



ボランティア募集

11月2日(日)のイベントをお手伝いいただく方を募集しております。未経験の方でも大歓迎ですので是非御協力下さい。

10月25日(土) AM9:00~PM12:00に、簡単な講習会をサンプラザ三原にて予定しておりますので、リボンフラワーを楽しむ気持ちで参加いただければ幸いです。

お問い合わせ
TEL.(0848)63-3515 担当 藤井まで

うらしま太郎 高齢者疑似体験プログラム

タイムマシンで80才の自分を体験してみませんか?

疑似体験セットの内容は?

身体的変化を体験するため、次のような用具を装着します。

耳栓
高音域を聞きづらくした耳栓をつけることで、老人性難聴に特有な聞きにくさを体験します。

眼鏡
加齢によって生じる白内障による色覚変化、ぼやけて見える状態や視野の狭さを体験します。

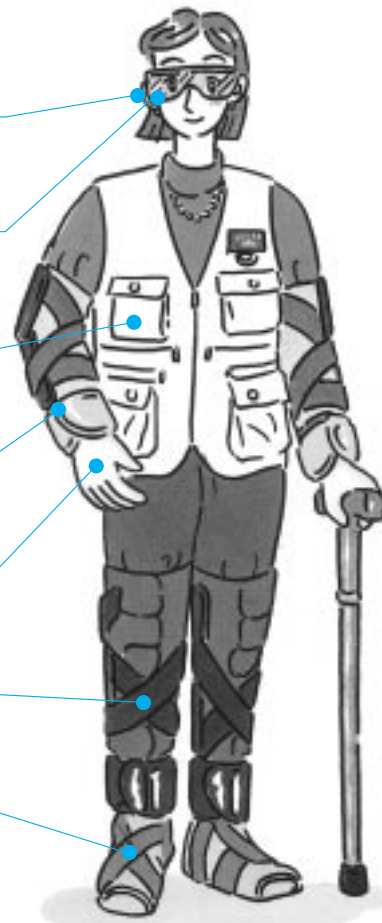
荷重チョッキ
体験者の体重に対比させた重りを入れたチョッキをつけて、加齢に伴う前かがみの姿勢を体験します。

肘サポーター・重り
関節を固定して、手首に重りをつけることで、筋力の衰えによっておこる肘関節の緩慢な動きを体験します。

手袋
手指の触覚、圧覚、温覚などの低下により、物がつかみにくい、落としやすい状態を体験します。

膝サポーター・重り
膝にサポーター、足首に重りをつけ、筋力の低下に伴い、膝関節が動きにくくなる状態を体験します。

靴型サポーター
足首の関節を半固定することで、歩く時につま先が上がらず、つまずきやすくなる状態を体験します。



自然と友達になろう 「わくわく自然体験隊」参加者募集

日時 1997年11月9日(日)
9:00~16:00(小雨決行)
場所 御調八幡宮県立自然公園野営場
趣旨 自然との触れ合い、人との触れ合いを通して子ども達が、自然の中で遊ぶことのおもしろさや、自然の素晴らしさ、大切に気づき、心豊かな感性が育つように心に残る楽しい体験をしてもらいます。また、自然から受けた感動や喜びをみんなで分かち合い、友情の輪・会話の輪が広がる事を目的といたします。

用意する物 お米1合、タオル、健康保険証写し、雨具
締切 11月6日(木)まで
後援 三原市教育委員会
申し込み 郵便ハガキ、又はFAXにて住所、児童名、学校名、学年、保護者名、電話番号を記入し、〒723 三原市皆実町1331-1 三原商工会議所内 (社)三原青年会議所 「わくわく自然体験隊」係 FAX(0848)62-1141

内容 自然の中で自然のものを使って食事作りにチャレンジします。
食事作り 竹の食器作り
火おこし 竹筒で炊くご飯作り
自然と触れ合うゲーム (ネイチャーゲーム)

お問い合わせ (社)三原青年会議所 (商工会議所内) TEL.(0848)63-3515 笠下まで



対象 小学4年生以上の児童
定員50人(先着順)
集合場所 三原商工会議所 8:45
参加料 無料

やっさもっさ広告協賛のお願い

本紙「やっさもっさ」は、(社)三原青年会議所がまちづくり運動の一環として、本紙掲載企業の皆様からの広告協賛と、(社)三原青年会議所の自主財源によって発行しており、現在1月から年11回、三原市・瀬戸田町及び本郷町内の約32,000戸に新聞折り込みしております。私たちは来年度も本年度以上に、市民の皆様へ愛され親しまれる紙面作りに邁進してまいります。

何卒、三原市及び近郊の各企業の方々のご協力をお願い申し上げます。詳しくは下記の青年会議所事務局までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ
〒723 三原市皆実町1331-1
三原商工会議所内
(社)三原青年会議所
TEL(0848)63-3515
FAX(0848)62-1141
締切り
11月30日まで

ちょっと一言

アイドリングについて

最近、「アイドリング」のことがニュースで言われ始めています。外国では、何分か以上アイドリングを続けると罰金という所もあるそうです。ある運送会社では、カギがベルトか何かとつながれており、車から出る時はエンジンを切らざる得ないという仕組みになっているそうです。先日、別の運送会社のトラックを見たのですが、「アイドリングストップ」と書かれているにもかかわらず5分以上エンジンをかけっぱなしで車から出ていました。面倒だし、エアコ

ンも切れてしまうし、エンジンを切りたくないのはよく分かりますが、みんながアイドリングをやめると、かなりのガソリン節約につながるそうです。むだなアイドリングは、温暖化にもつながりかねません。三原はアイドリングストップへの何か対策を考えているのでしょうか。早く電気自動車が安く普及すればよいのですが。(長谷町 K)

投稿募集 ちょっと一言

本紙では投稿を募ります。市民の皆さんの身近なご意見をお聞かせください。お待ちしております。(四百字程度)なお掲載分については粗品を進呈いたします。

〒723 三原市皆実町1331-1
(社)三原青年会議所内
広報委員会 行